

のうがくかい

「なごやか農楽会」だより 69号

2022.2月(春)号



2021年度(21期生)修了式

- ◇ なごやか農楽会からのお知らせ
 - ～ 2022年度(21期)総会開催のご案内 ～
 - ～ 農業ボランティア育成講座募集始まる ～
- ◇ 援農作業予定 (3～5月)
- ◇ 援農作業実績 (11～1月)
- ◇ 農家さん紹介/あいちの伝統野菜など

なごやか農楽会からのお知らせ

令和4年度(21期)
なごやか農楽会総会のご案内

令和4年4月24日(日)総会開催

令和4年度(21期)なごやか農楽会総会を次のとおり開催いたします。

農業センター施設の一部工事が完了しましたので、会場は例年と同じ会場とし、コロナ対策をとって開催いたします。
ご参加願います。

具体的には次頁をご覧ください。

なお、農業ボランティア育成講座(21期生)修了式が、2月5日開催され、修了生(27名)が、なごやか農楽会に入会されます。

なごやか農楽会だよりは、名古屋市農業センターのご協力により発行しております。

なごやか農楽会からのお知らせ

1. 開催日：令和4年4月24日（日）
2. 開 会：午後1時～3時
（受付開始：開会時刻の30分前から）
（総会閉会后：支部総会を行います）
3. 閉 会：午後3時45分（予定）
4. 会 場：名古屋市農業センター
5. その他：なごやか農楽会20年の歩み（20年史）
をお配りいたします。
（欠席の場合の配布は別途ご案内）

（お願い）

- ◎総会受付にて2022年度会費1,000円お支払いください。
- ◎当日は名札（修了証）を着用願います。
- ◎当日欠席の方は4月30日までに以下の口座へ振込み（注1）をお願いします。
振込先：ゆうちょ銀行振替（記号12100）
口座名：なごやか農楽会
種類：普通口座 番号68446931
（他銀行からは、店番218—6844693）

（注1）当日、総会受付で代理徴収が出来ます。
（総会に参加されるお知合いの会員に会費をお預けし、お知合いの会員が代わりにお支払い頂く方法です。）

（注2）総会直前の総会のご案内は、行いません。
（本日よりにてご案内に替えます）

農業ボランティア育成講座受講希望者説明会開催のお知らせ

農業ボランティア育成講座とは、市民を対象として実際の農業を知るための講義と実習を行い、講座終了後に名古屋の農業の応援団として活躍いただける人材の育成を目的として開く講座です。平成13年度から実施しており、これまでの卒業生は現在も農業ボランティアグループ「なごやか農楽会」の一員として活躍しています。なごやか農楽会の会員になるためには、講座の受講が必要です。

説明会参加には、事前の申込みが必要です。

定員 80名（定員を超えた場合は抽選）

日時 令和4年4月9日（土曜日）午後

場所 名古屋市農業センター

（天白区天白町平針黒石2872-3）

説明会参加申込期間（事前）

令和4年3月1日から3月20日（当日消印有効）

申込方法（3月1日からです）

往復はがきの場合 募集要項の最終ページの申込書に必要事項を記入のうえ、往復はがきに貼ってお申込みください。（募集要項は農業センター、区役所、図書館等で配布、もしくは、名古屋市のwebよりダウンロードしてください。）

名古屋市のwebは

名古屋市農業ボランティア育成講座

検索

インターネットの場合

名古屋市電子申請サービスからお申込みください。

名古屋市電子申請サービス

<https://www.e-shinsei.city.nagoya.jp/>

お問い合わせ

名古屋市農業センター農業ボランティア担当あて

電話番号052-801-5221

評議会報告

報告・審議・検討事項

11月度会議（11月13日開催）

（1）畑の管理活動（援農塾）について報告があった。塾生5-8名、指導員3-5名で週1回活動を行っている。10月は八事人参、白菜、サツマイモ、カブ、折菜、サニーレタス、タマネギ、小松菜、ハウレンソウ、キャベツの手入れを行った。

（2）農家さんへ20周年記念メッセージを依頼する。メッセージをお願いするのは援農依頼のある農家さん21軒。内、4農家さんは各支部の代表としてのメッセージを依頼する。来年1月末までに提出頂く予定。

（3）登録農家さんの見直し（登録継続意向）を農業センターにて実施。登録の取消が、てんぱく3軒、みどり1軒、港・中川1軒の合計5軒あり、登録農家数は36軒から31軒となる。内訳は、てんぱく16軒、みどり5軒、もりやま3軒、港・中川7軒。

（4）農業センター 祭り11月6、7日 出店 結果について 報告 正月菜等 愛知伝統野菜の種子等のセット販売を行い、108個販売した。入園者数が例年より少な目で販売数量も少し少なかった。

12月度会議（休み）

1月度会議（1月9日開催）

（1）育成講座（21期生）修了式等について。21期の修了生は27名。支部の内訳は、てんぱく支部4名、みどり支部無、もりやま支部11名、港・中川支部12名。もりやま、港・中川支部の会員が増えている。フリモ掲載と実技研修の影響もある。育成講座にて支部の所属を決める前に農楽会と各支部の活動を紹介するようになって今年が3年目。今後も継続する。

（2）第21期農楽会総会開催に向けた今後のスケジュールについて 第22期育成講座説明会実施日が4月9日（土）午後に決まった。このため、4月の評議会は9日（土）午前中とし、総会の資料準備を16日（土）とする。総会は4月最終週の日曜である24日とする。総会の運営について4案を説明。次回評議会で総会運営について決定する。

☆（評議会議事録本文は、なごやか農楽会ホームページの会員のページにあります）

援農作業予定 (3～5月)

てんぱく支部

支部会員へのお願い

援農作業風景の写真を募集しています。
農家さんにご迷惑をおかけしないよう事前に
了解を頂いた上、休憩時間の前後の時間に
撮って下さい。支部長と相談の上。

3月
トウモロコシ、枝豆の植付け
甘夏の収穫など

4月
カボチャの植付け
ブドウの花切り

5月
ブドウの花切り
タマネギの収穫

みどり支部

支部会員へのお願い

援農作業風景の写真を募集しています。
農家さんにご迷惑をおかけしないよう事前に
了解を頂いた上、休憩時間の前後の時間に
撮って下さい。支部長と相談の上。

3月
予定なし

4月
サツマイモ畑堆肥散布、畑耕耘、畝作りなど

5月
ブドウ花穂切り、誘引、まきひげ切り、
ジベレリン処理、畝作り、マルチ張り、
園児（年中、長）サツマイモ苗植付け
手伝いなど

援農作業予定 (3～5月)

もりやま支部



トマトハウスでの作業風景

3月
トマト下葉とり・紐つり、畑整理、ぶどうの皮むき、ブルーベリーの剪定など

4月
トマト下葉・わき芽とり、野菜収穫、畑整理
カラス対策（ネット張り等）、ぶどうのつる切り
除草、ブルーベリーの剪定、摘花、施肥など

5月
トマト、野菜収穫、袋詰め、畑整理、ぶどう誘引
房作り、ブルーベリーの剪定、ネット張り
梅収穫など

港・中川支部



トマトハウスでの箱作り

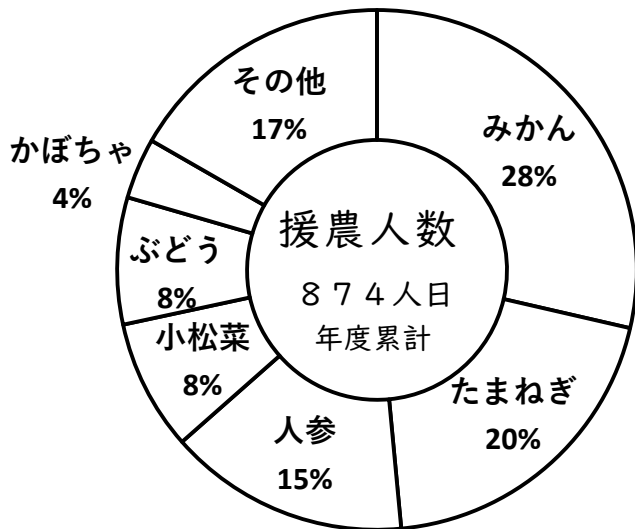
3月
糸切り、紐抜き、箱作り、とうもろこし苗準備
ブロッコリー収穫、ミツバの整理、ジャガイモ
植え付けなど

4月
糸切り、箱作り、ジャガイモ・とうもろこし苗
植え付け、ミツバの整理、玉ねぎ収穫、里芋・
キュウリ・ナスの植え付けなど

5月
紐抜き・箱作り、水耕ネギの整理、ジャガイモ
収穫、とうもろこし畝の草取り、ミツバの整理
さつまいも・ナス・キュウリ・ピーマン・
落花生の植え付けなど

援農作業実績 (11~1月)

てんぱく支部

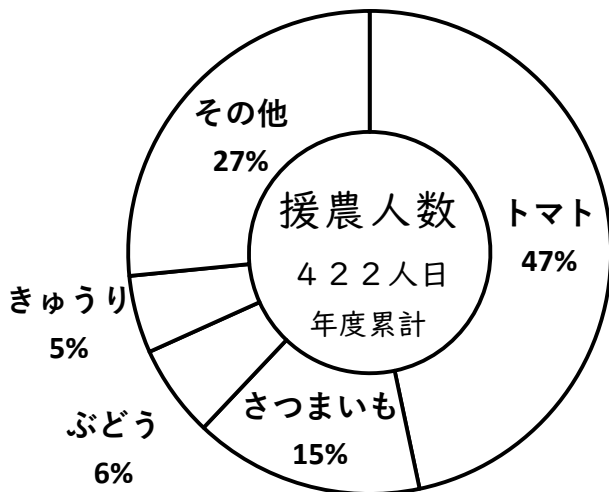


1人日=1人1日3時間の援農作業

三か月間(11月~1月)の援農実績は、431人日。年度累計は、874人日。
三か月間の援農先は、5農家。

援農作業は、玉ねぎの定植、みかん収穫、小松菜揃え、ぶどう・梅の剪定、人参切り・袋詰め等です。

昨年度(11月~1月)の援農実績 158人日
昨年度(4月~1月)の累計実績 500人日



1人日=1人1日2時間の援農作業

三か月間(11月~1月)の援農実績は、130人日。年度累計は、422人日。
三か月間の援農先農家は、4農家。

援農作業は、ハウス片付け、サツマイモのつる切り、マルチ剥がし園児(年小・中・長)のさつまいも収穫手伝い、モモせん定、枝の片付け、柿の整枝剪定と片付け、ブドウ落葉片付け、粗皮削り

昨年度(11月~1月)の援農実績 272人日
昨年度(4月~1月)の累計実績 550人日

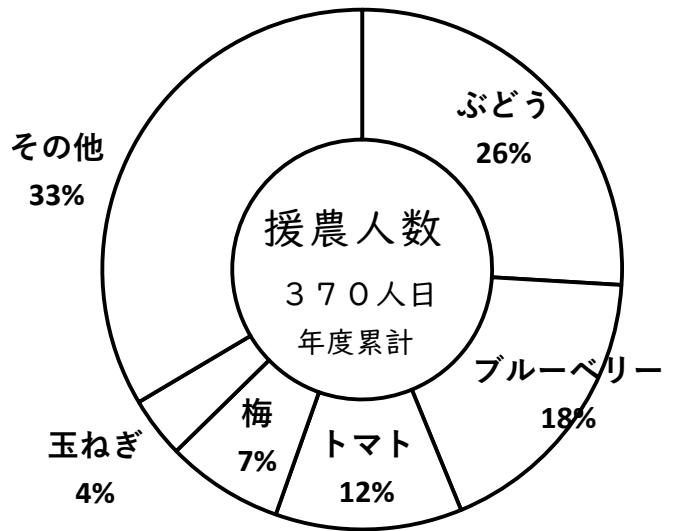
援農作業実績 (11~1月)

もりやま支部

三か月間(11月~1月)の援農実績は、95人日。年度累計は、370人日。
三か月間の援農先農家は、3農家。

援農作業は、鳥対策用紐張り、キュウイフルーツ・トマト手入れ、草取り、しめ縄作り準備、ぶどう剪定・皮むき枝切り・つる切り、アーチ屋根取付、梅剪定、玉ねぎ植付、畑片付け、ポット土入れ、ブルーベリー剪定・植付・施肥・籾殻蒔き、さつまいも収穫、ゴーヤ片付け、畑整理、キュウイ棚作り、蜜柑の木のカイガラムシ除去)、支柱下し、ビートモス散布、ネット外し

昨年度(11月~1月)の援農実績 83人日
昨年度(4月~1月)の累計実績 343人日



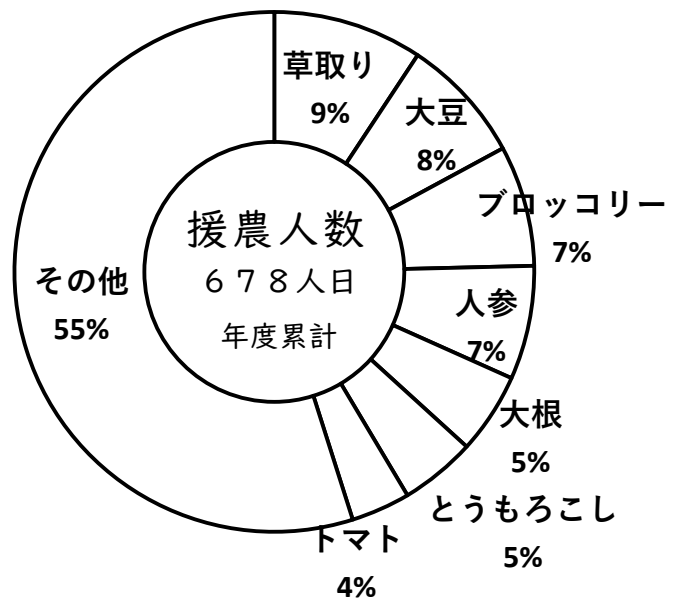
1人日=1人1日2時間の援農作業

港・中川支部

三か月間(11月~1月)の援農実績は、186人日。年度累計は、678人日。
三か月間の援農先農家は、5農家。

援農作業は出荷用箱作り、玉ねぎ植付、畑片付け、ポット土入れ、ぶどう皮むき、ブルーベリー剪定・植付、梅剪定、サツマイモ掘り、ケール・キャベツ・大根の畝の草取り、人参の収穫と洗い、ワラの片づけ、ブロッコリー・里芋掘り・土落とし・袋詰め、ミツバの出荷調整、春菊の間引き

昨年度(11月~1月)の援農実績 114人日
昨年度(4月~1月)の累計実績 482人日



1人日=1人1日2又は3時間の援農作業

農家さん紹介

農家さん紹介 森山正敏さん
「プロフィール」

正敏さんは、1949年生まれ、家は江戸時代からの農家だそうです。



今回は天白支部の森山正敏さんを訪問しました。

訪問した日（2021年12月9日）は農楽会のボランティア2人とウメの剪定および枝の集積作業中でした。このウメはお母さんからの話では1983～4年頃植付けしたもので、もう40数年経過しているとのこと。梅畑の他にミカン、スイカ、黄ウリ、大根、カブ、白菜、ニンジン等作ってみるとのことでした。

農作業で気を付けていることは、「足を踏み外して2回転倒しているので、怪我をしないようにすること」だそうです。近所住民へは、消毒する際は風の無い日、ノズルを絞って民家に向けない等に気を付けているとのことでした。土づくり、肥料は野菜などには苦土石灰、「カキから君」、米ぬか、牛糞、有機化成など使っているが細かい割合などはあまり気にしないそうです。

農楽会への援農依頼は発足当初は行っていたが、その後絶えていて、今回農業センターから「あまり援農の希望がないようですが、今後どうされますか」との連絡が入ったので、丁度自分も70歳を超え一人での作業は辛く感じていたこともあり、今年（2021年）からウメの剪定、剪定枝の集積・粉碎をお願いすることにしたそうです。

楽しみと言えば、JAなどで行く旅行の他、ビール・焼酎少々のお酌で、自分の畑で採れた野菜で奥様が作る切り干し大根、カブ漬け、おでんなどに下鼓をうっているとのこと。

農楽会のボランティアの感想をお尋ねしたところ、皆さん紳士淑女ばかりとのこと。嬉しい感想をいただき訪問を終了しました。



梅の剪定
枝の集積



梅の花

はじめよう！ 家庭菜園(*1)

今月号は支柱立てです。

1. 支柱立てのメリットって

- ・病害虫による被害が減る
隣との距離が保たれるため、病気や害虫が発生しにくくなります。
- ・日当たりが良くなり収穫量が増える
密生しないことによって、まんべんなく日が当たります。
また、光合成の効果によって収穫量もアップ
- ・収穫しやすくなる
実の様子が見やすくなるため、収穫がしやすくなります。

支柱の立て方

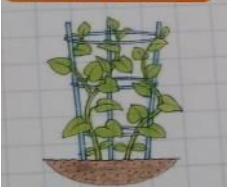
仮支柱について

苗を植え付けた後に、倒れないように根付くまで支えてやることを仮支柱と呼びます。

約30cmの短い支柱を斜めにさし、苗を支えましょう。

苗が完全に根づき、ツルや側枝が伸び始めたら長い本支柱を立てます。

あんどん仕立て



あんどん仕立て

主にプランターで栽培しているツルのあるマメ科の野菜やミニかぼちゃなど実が重くなる野菜に向いています。

1本仕立て



一本仕立て

1株に1本の支柱を立てて支えます。比較的背丈の低いシントウ・トウガラシ・ズッキーニなどに向いています。

3本仕立て



3本仕立て

支柱を伸ばす側枝2本を選び3本に仕立てる方法。真ん中に1本と左右に1本ずつ斜めにさします。ナス・ピーマンが該当します。



(*1) はじめよう家庭菜園は、なごや農業協同組合様が発行されるCITYなごやに掲載されています。なごや農業協同組合様のご承諾を得て、掲載しています。

あいちの伝統野菜



あいちの伝統野菜

次号はトマトを紹介します

(※1) 「蘿蔔」とは「すずしろ」(ダイコンの異名) のことです。

(※2) 菜譜は貝原益軒(本草学者、儒学者)の書物、宝永元(1704)に発行された。肥料の与え方や移植の時期に至るまで植物の栽培方法について詳細に記載されています。

今月号はニンジンです。

ニンジン、セリ科の2年草です。

アフガニスタンの周辺に野生があり、紫赤色、黄色、白色個体などの野生品が見られ、この地域がニンジンの第一次原生地とされています。

3世紀頃の書物にニンジンの記載があるとされています。

10世紀前後に近東地域に伝わり、小アジア(トルコ)西部でヨーロッパ型のニンジンが成立し、15世紀までにヨーロッパ各地に伝わっています。

中国に伝わったのは13世紀頃です。胡から来たダイコンということで胡蘿蔔(こらふ)(※1)としたとの説もありますが、宋あるいは後漢時代、10世紀頃には既に存在していたようです。

わが国には16世紀頃に伝わりました。古くから知られていた薬用のオタネニンジンと根の形が似ており、区別してセリニンジンと呼ばれました。東洋系の品種で紫赤色の品種や白色の品種など各地で栽培されたりしく、菜譜(※2)では渡来間もない野菜ですが、「采中第一の美味なり。性亦尤よし」と栽培を勧めています。

滝野川大長ニンジンが明治、大正時代の東洋系の主要品種で、東日本で盛んに栽培されましたが、現在栽培されている東洋系品種は大阪、木津川付近で成立した品種といわれる金時ニンジンだけです。

欧州系のニンジンが渡来したのは江戸時代の後期以降です。

まず、長崎に入り、長崎五寸などの品種が生まれました。

明治初期に欧米系の品種が積極的に導入され、これらの品種からわが国の風土になじんだ品種が相次いで育成されました。

昭和初期までの欧州系品種の代表格は、国分ニンジンと札幌大長の長ニンジンです。

戦後は労働生産性を高める必要性が叫ばれニンジン栽培では収穫労力の削減が検討されました。

この点から短根種であれば収穫から洗浄まで省力でき、葉を除けば選別が機械化でき、従来の結束方法の他パック、ポリ袋詰めが可能になります。短根種は消費者にとっても取扱いや調理がし易いため、五寸ニンジンが主体となりました。

五寸ニンジンにはチャンテネー(五寸ニンジンの祖)から生まれた冷涼地むきの鮮紅五寸の仲間と長崎付近で成立した長崎五寸、黒田五寸などの暖地向きの品種とがあります。

八事五寸ニンジンは、大正8年に天白区の農家が東京の種苗会社から導入したニンジンの種から選抜したのがルーツとされています。

八事五寸にんじん、碧南鮮紅五寸にんじん、木之山五寸にんじんが愛知の伝統野菜に指定されています。



色が濃く、芯が小さい。柔らかく早く煮えるが、煮くずれしない。甘みが強く味付きが良い。

八事五寸ニンジン



碧南の砂地土壌に適した品種である。根は先の詰まった総太タイプ。色が濃く芯の老化も遅く春先まで収穫できる晩生品種である。

碧南鮮紅五寸にんじん



芯まで赤い。肉質が柔らかく、食味良好。

木之山五寸にんじん

写真：あいち在来種保存会・「あいちの伝統野菜」畑から(ブログ)

参考文献

日本のふるさと野菜(一般社団法人日本種苗協会発行)

日本の野菜文化史事典(青葉高著 八坂書房2013)

あいち在来種保存会

愛知県HP愛・地産・アラカルト

(農業水産局農政部園芸農産課)

編集後記

農業センターしだれ梅まつりは2/23(水・祝)から3/21(月・祝)まで行われます。今年もコロナ下での開催となっています。オミクロン株の峠は越えたようにも見えますが高齢者はリスク大きいので油断は禁物です。今はまん延防止等重点措置中ですので「日中も含め不要不急の外出自粛要請」に留意ください。今の状況ですと、今年の総会は実施できそうです。コロナがおさまるまで、制約の中での援農に取り組んでいきましょう。

発行 **なごやか農楽会事務局**(水野・川合) 令和4年2月25日発行

なごやか農楽会は、名古屋市内の農家のお手伝いを主な活動とする農業ボランティアグループ。

会員は、全て農業ボランティア育成講座修了生です。